

インライン式

*GeneXus*<sup>™</sup>

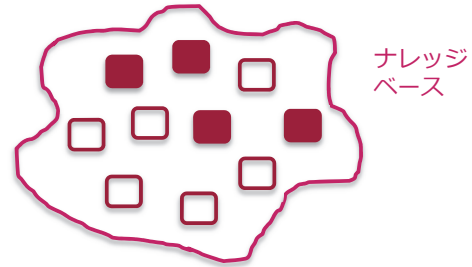
## グローバル式とインライン式 (ローカル) の違い

## • グローバル式

項目属性 = fx



(トランザクション構造内)

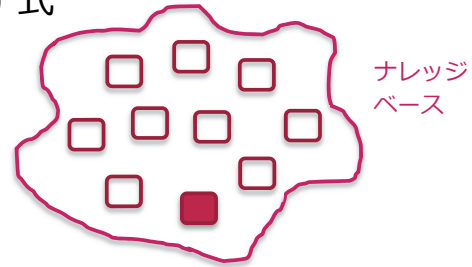


- ナレッジベースの任意のオブジェクトが計算式にアクセスできる。
- 式は、オブジェクトが項目属性を使用するたびに評価される。
- 項目属性はデータベースに格納されない。

## グローバル式とインライン式 (ローカル) の違い

## • インライン (またはローカル) 式

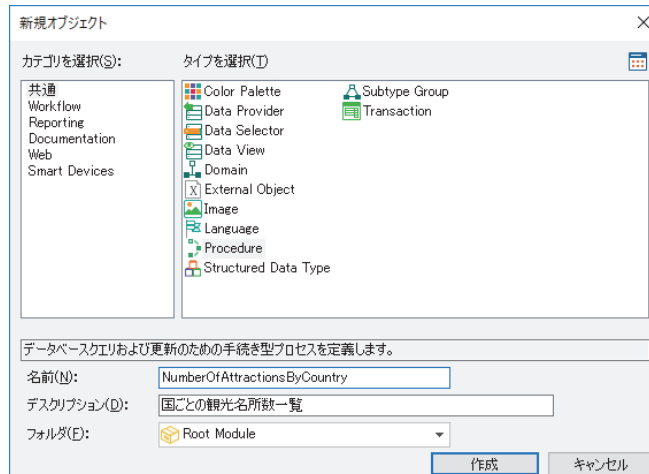
**&変数 = fx**  
└──────────┘  
(オブジェクトのコード内)



- 計算式を定義したオブジェクトのみが計算式にアクセスできる。
- 戻り値を返す関数のようなもの。

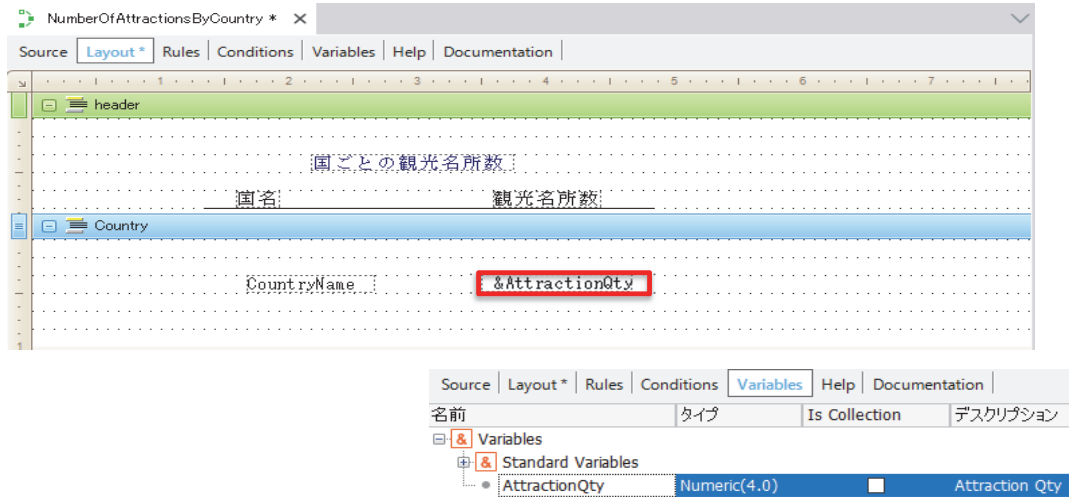
## 例

国と、各国の観光名所の数を表示するリストを作成するよう求められている。  
プロシージャオブジェクトを作成する。



## レイアウトを定義する

&AttractionQty 変数で観光名所の数を表示する。



## ソースを定義する

```
Print header
For each Country
  Print Country
Endfor
```

header	
国ごとの観光名所数	
国名	観光名所数

Country	
CountryName	&AttractionQty

## インライン式を定義する

Source	Layout *	Rules	Conditions	Variables	Help	Documentation
名前		タイプ	Is Collection	デスクリプション		
Variables						
Standard Variables						
AttractionQty		Numeric(4.0)	<input type="checkbox"/>	Attraction Qty		

```
Print header
For each Country
  &AttractionQty = Count(AttractionName)
  Print Country
Endfor
```

式がナビゲートするテーブル: Attraction

For each コマンドのベーステーブル: Country

共通する項目: CountryId

```
&AttractionQty=Count (AttractionName, CountryId=CountryId)
```

暗示的フィルタ

プロシージャ－を実行して、式がどのように計算されるかを確認する

国ごとの観光名所数	
国名	観光名所数
ブラジル	1
フランス	2
中国	1
アメリカ合衆国	1



## インライン式の別の使用方法

要件: 観光名所が 3 つ以上ある国をすべて表示する。

For each コマンドに Where 節を追加して、条件を満たす式を使用する:

```
Print header
For each Country
  Where Count(AttractionName) > 2
    &AttractionQty = Count(AttractionName)
  Print Country
Endfor
```

## 実行時

国ごとの観光名所数	
国名	観光名所数
フランス	2

## 留意点:

- これまでに出てきた式 (Sum、Average、Max など) もインライン式に使用できる。

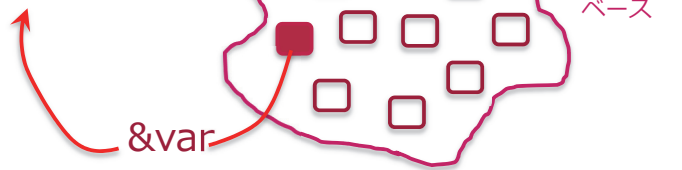


## グローバル式とインライン式 (ローカル) の違い

- インライン式はオブジェクトで宣言された変数を使うことができる。

## インライン (またはローカル) 式

**&変数 = fx**



例: **&AttractionsQty** =  
Count(AttractionName)

## グローバル式とインライン式 (ローカル) の違い

- グローバル式では計算式に変数を使用できない。グローバル式はどのオブジェクトからでも使われる**項目属性**だが、変数は (宣言したオブジェクトからのみ利用できる) ローカルスコープであるため。

## グローバル式



## まとめ

The screenshot displays the GeneXus IDE interface. At the top, a red header bar contains the text 'インライン式' (Inline Formulas) on the left and the 'GeneXus™' logo on the right. Below the header, the main workspace is divided into several panels. On the left, a 'Source' panel shows a code editor with the following code:

```
1 Print header
2 For each Country
3   Where Count(AttractionName) > 1
4   &AttractionQty = Count(AttractionName)
5   Print Country
6 Endfor
7
8
```

On the right, a 'GRID' panel shows a table with two columns: '国名' (Country Name) and 'Attractions Qty'. The 'Attractions Qty' column contains the formula '&AttractionsQty = Count(AttractionName)'. Below the grid, an 'Event Load' panel shows the following code:

```
Event Load
  &AttractionsQty = Count(AttractionName)
Endevent
```

At the bottom right, a 'Countries' panel shows a data provider definition:

```
1 Countries
2 {
3   Country
4   {
5     Country = CountryName
6     Attractions = Count(AttractionName)
7   }
8 }
```

In all instances, the inline formulas 'Count(AttractionName)' are highlighted with red boxes to emphasize their use.

- 「インライン」式は、特定のコード（プロシージャーの [Source]、Web パネルイベント、データプロバイダーの [Source] など）内に個別の命令として記述する式。

## まとめ

- インライン式は、それが定義されているオブジェクト内でのみ参照できる。
- そのため、ローカル式とも呼ばれる。オブジェクトが実行されたときに計算され、その後値は消える。
- インライン式はグローバル式 (トランザクション内の項目属性に対して記述される) とは異なる。グローバル式は、実行時に任意のオブジェクトに含まれる項目属性の値が問い合わせされるたびに計算される。